

株主の皆様へ

# 第61期 報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日



立山トンネル電気バス（令和7年4月15日運行開始）



## 株主の皆様へ

代表取締役社長 見角 要

皆さまには、日頃より、当社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、第61期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

令和6年度は緩やかな景気回復が進む一方、長期化するウクライナ情勢や中東での度重なる軍事衝突などの不安定な国際情勢に起因したエネルギー価格・物価の高騰が続き、依然として先行き不透明な状況が続きました。観光業界においては、円安を背景に訪日客を中心とした旅行需要の回復傾向が続いており、国内の主要な観光地が賑わう一方、「オーバーツーリズム」が社会問題となりました。

そうした中、当期の立山黒部アルペンルートは昨年同様、4月15日に立山駅～信濃大町駅間の全線において営業を再開し、11月30日まで営業いたしました。

営業の推移を概観いたしますと、旅行需要の回復基調に加え、北陸新幹線敦賀延伸効果や立山トンネルトロリーバスのラストイヤーが追い風となり、シーズンを通して多くのお客さまにご利用いただき、営業を終えることができました。

この結果、当期の入り込み人員は合計824千人（前期比116%、113千人増）となり、また、入り込み方面別では、富山入り込みが397千人（前期比113%）、大町入り込みが427千人（前期比119%）となりました。

旅客の内訳では、国内旅客においては、北陸新幹線の敦賀延伸効果、立山トンネルトロリーバスラストイヤーの話題性を活かしたSNS発信や注目度の高いメディアへの露出拡大、また旅行各社に向けた早期商品販売促進などが奏功し、国内旅客全体の入り込み人員は600千人（前期比113%、68千人増）となりました。

一方、海外旅客においては、前年からの円安基調が続き、例年利用の多い台湾や韓国からの春秋のチャーター便が好調に推移したことや、航空機材の大型化により座席数が増加したこともあり、アジア圏を中心に旅客が増加しました。また、人気の高い雪の大谷に加え、紅葉と新雪を組み合わせた積極的なプロモーション活動が功を奏し、秋以降も順調に推移し、入り込み人員は224千人（前期比125%、45千人増）となりました。

3頁の「決算概要」に記載のとおり、前期に引き続き、黒字を計上することができましたが事業継続可能な財務基盤を構築していくとともに、事業設備のリニューアル投資を進めるべく、株主の皆様には誠に申し訳ございませんが、配当金につきましては、無配とさせていただきます。何卒ご理解を賜りますようお願い申しあげます。

現行の中期経営計画は、令和3年度よりコロナ禍からの回復を大きなテーマに掲げ、種々の事業構造改革を進めてまいりました。令和6年度には同計画に基づく取り組みにより、

前年を大きく上回る成績を収めることができました。

計画最終年となる令和7年度は前年からの回復の歩みを着実に進めてまいります。全線開業から半世紀を経た各施設のリニューアルに向けた中長期的な設備投資計画の着実な推進に備え、今後も継続的に収益を上げていかなければなりません。持続的かつ将来の成長に向けて、営業・人材・DXへの投資を推進し、安定的で強力な収益基盤の構築を目指してまいります。

令和7年度においては、グループとして室堂ターミナルビルの改修工事に着手するほか、運輸インフラの一部更新工事や施設改修工事、DXへの投資等を計画しております。さらに、運輸インフラの大規模修繕工事、ターミナル事業の再編とそれに伴う大規模修繕工事等が控えており、それら投資計画の具体化を含む第二次中期経営計画の策定を鋭意進めてまいります。

今年度、立山トンネルトロリーバスに替わり、立山トンネル電気バスの運行を開始しました。この車体には立山の四季の風景やスタジオ地図とのコラボレーションによるアニメーション映画「おおかみこどもの雨と雪」のラッピングを施し、新たな楽しさを提供いたします。

人気の高い春の「雪の大谷ウォーク」に始まり、初夏から紅葉、新雪期まで、メインビジュアルである「みくりが池」を中心に、各種イベントを実施し、四季折々の立山黒部アルペンルートの魅力や楽しみ方を発信してまいります。

富山県・近隣県・関係市町村・関係機関などのご協力をいただきながら、当社の強みである旅行会社や運輸機関との幅広いネットワークや注目度の高いメディアを活用し、シーズンを通じてより多くのお客様にお越しいただけるよう努めてまいります。

また、お客様の利便性向上を目的とした個人旅客向けWEBきっぷについては、事前に予約ができ、待ち時間の解消や旅の安心感につながることから、主力商品の「予約WEBきっぷ」のほか、早期予約型の「早割10」や「先行販売」なども好調に推移しており、お客様により快適に楽しんでいただけるよう魅力ある商品展開や更なる利便性向上に努めてまいります。

人材育成においては、アルペンルート事業を長期的に支える人的基盤を強化するべく、運転手や技術・IT関連人材を中心に経験者採用を継続するとともに、雇用条件、処遇の改善、新たな人事評価制度の導入、若手社員へのサポート体制の強化を図ってまいります。

世界に類のない山岳観光地で運輸事業を営む当社では、今後も全職場において、継続的に安全・安心の管理と教育を徹底するとともに、乗り物施設の安全対策や弥陀ヶ原火山災害発生リスクに対し、行政および関係機関と連携しながら、施設調査や対策の検討、災害対応体制の構築、避難確保計画の策定などを進めてまいります。

立山トンネル電気バスの導入は、環境負荷低減に資するものであり、今後も、カーボンニュートラルの実現に向けて、その知見を事業全般に活かしてまいります。

幾多の先人の方々が築き上げてきた「立山黒部」ブランドを、持続可能な観光地へとさらに進化させるため、選ばれる観光地であり続けるべく、高品質な観光コンテンツの造成、持続可能な企業であるための事業収益力の確保、安全・安心な運行体制の構築、そして大自然立山の自然環境保全に、役職員一同全力を傾注してまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 決算概要 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

## 【単体】

### 損益概要

(単位:百万円)

	令和6年度		令和5年度
		前期差	
営業収益	5,270	1,073	4,197
営業費	3,595	175	3,420
営業利益	1,674	897	777
経常利益	1,677	826	850
当期純利益	1,583	400	1,182

### 資産・負債概要

(単位:百万円)

	令和6年度		令和5年度
		前期差	
資産の部	10,432	1,084	9,347
流動資産	4,419	1,039	3,380
固定資産	6,013	45	5,967
負債の部	6,991	△511	7,503
流動負債	1,382	△148	1,531
固定負債	5,608	△363	5,972
純資産の部	3,440	1,596	1,843

今期の営業収益は52億70百万円（前期比126%）となりました。一方、営業費につきましては、エネルギー価格高騰などの影響もありましたが、経営全般にわたる業務の効率化、要員体制の見直しなど、スリムな運営体質の構築に努めた結果、営業費合計は35億95百万円（前期比105%）となり、営業利益は16億74百万円となりました。

これに、営業外収益86百万円、営業外費用84百万円を加減した当期の経常利益は16億77百万円となりました。

さらに、法人税等ならびに税効果会計による法人税等調整額を加減した結果、15億83百万円の当期純利益を計上することとなりました。

## 【連結】 連結子会社：立山貫光ターミナル㈱、立山黒部サービス㈱

### 損益概要

(単位:百万円)

	令和6年度		令和5年度
		前期差	
営業収益	7,391	1,433	5,958
営業費	5,255	310	4,944
営業利益	2,136	1,122	1,013
経常利益	2,140	1,057	1,083
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,976	538	1,437

### 資産・負債概要

(単位:百万円)

	令和6年度		令和5年度
		前期差	
資産の部	12,159	1,584	10,574
流動資産	5,317	1,329	3,988
固定資産	6,842	255	6,586
負債の部	7,738	△596	8,335
流動負債	1,555	△178	1,733
固定負債	6,183	△418	6,602
純資産の部	4,420	2,181	2,238

### 連結子会社の損益概要

(単位:百万円)

	立山貫光ターミナル㈱	立山黒部サービス㈱
営業収益	2,253	100
営業費	1,835	81
営業利益	417	19
経常利益	432	20
当期純利益	520	14

# 営業概況

## ■入り込み人員

(単位:千人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
富山入り込み	227	352	397
大町入り込み	253	359	427
入り込み人員合計	480	711	824
内、当社線利用人員	340	534	659

## 会社概要 (令和7年3月末現在)

- 所在地 〒930-8558 富山県富山市桜町一丁目1番36号
- 電話 (076) 441-3331
- 設立日 昭和39年12月25日
- 事業目的 自動車運送事業、鉄道・軌道及び索道事業、ホテル・旅館事業、売店・食堂その他飲食物販売業、旅行業法に基づく旅行業
- 資本金 1億円
- 発行済株式総数 8,973,284株 (自己株式318,384株を除く)
- 株主数 1,407名
- 役員 (令和7年6月27日現在)

代表取締役社長	見角 要
常務取締役	田草川健二 (経営管理本部長・プロジェクト推進室担当)
常務取締役	杉林 義宏 (経営管理本部副本部長・技術環境部長)
常務取締役	内山 高宏 (経営管理本部副本部長・総務部長・ホテル事業委託部担当)
取締役	新田 八朗
取締役	金井 豊
取締役	麦野 英順
取締役	宮本 信之
取締役	中田 邦彦
取締役	藤井 裕久
取締役	牛越 徹
取締役	田丸 哲
取締役	清水 智則 (経営企画部長・経理部長)
取締役	桔梗 克彦 (営業推進部長・運輸事業部担当)
監査役	出来田 肇
監査役	舟橋 貴之
監査役	新庄 一洋

# 株主関連

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 6月
- 基準日
  - 株主優待券 2月末日
  - 定時株主総会の議決権 3月31日
  - 期末配当金 3月31日
- 公告掲載新聞 北日本新聞
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人  
東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  
株式会社アイ・アールジャパン
- 同事務取扱場所  
東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  
株式会社アイ・アールジャパン
- お問合せ・送付先  
〒100-6026  
東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  
株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部  
0120-975-960（フリーダイヤル）

※令和7年6月30日までは下記へお問い合わせください。

- 株主名簿管理人  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- お問合せ  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-707-843（フリーダイヤル）

## 単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社では、単元未満株式（100株未満）をご所有の株主の皆様のご便宜を図るため、単元未満株式の買取および買増制度を行っております。

### <単元未満株式の買取り>

株主様がご持ちになっている単元未満株式を、当社が買い取らせていただきます。

### <単元未満株式の買増し>

株主様がご持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（100株）となる株式を当社が株主様に売却いたします。

お手続きの詳細につきましては、上記株主名簿管理人までお問い合わせください。

## 株主優待制度

ご所有株式数	優待乗車券・乗車証			ホテル宿泊 ご優待割引券
	種 類	通用区間	発行枚数	
100株～150株未満	優待乗車券(片道)	立山～室堂	1枚	2枚
150株～300株未満	優待乗車券(片道)	立山～室堂	2枚	2枚
300株～400株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	2枚	2枚
400株～600株未満	優待乗車券(片道)	立山～室堂 立山～黒部湖	2枚 2枚	2枚
600株～800株未満	優待乗車券(片道)	立山～室堂 立山～黒部湖	2枚 4枚	2枚
800株～1,000株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	6枚	2枚
1,000株～2,000株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	8枚	4枚
2,000株～3,000株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	16枚	4枚
3,000株以上	優待乗車券(片道) 優待乗車証(記名式)	立山～黒部湖	24枚 1枚	6枚

- 優待有効期間：各年度 営業期間中
- 各券のご利用方法につきましては、各券面記載事項をご覧ください。

# 立山黒部アルペンルートのご案内

● 立山黒部アルペンルート公式サイト  
<https://www.alpen-route.com>



「富山駅」から「長野駅」までいろいろ乗り継ぐ立山黒部アルペンルート。  
 気軽に標高3,000メートル級の立山連峰の絶景が楽しめます。  
 事前に乗車予約ができる安心・便利な「WEBきっぷ」のご利用がおすすめです。



乗物	電車 電鉄富山～立山	立山 ケーブルカー	立山高原 バス	立山トンネル 電気バス	立山 ロープウェイ	黒部 ケーブルカー	(徒歩)	関電トンネル 電気バス	路線バス (原沢～信濃大町)
キロ (時間)	34.1km (65分)	1.3km (7分)	23km (50分)	3.7km (10分)	1.7km (7分)	0.8km (5分)	0.6km	6.1km (16分)	18km (40分)
運賃 (おとな)	片道	1,420円	1,090円	3,000円	2,200円	1,700円		1,800円	1,650円
	往復	2,840円	1,980円	5,400円	3,960円	3,060円		3,200円	2,950円

## アルペンルートのホテル



**ホテル立山**  
 〒930-1414 富山県中新川郡立山町芦崎寺堂室  
 ☎(076)463-3345 FAX(076)463-3348  
<https://h-tateyama.alpen-route.co.jp/>

**弥陀ヶ原ホテル**  
 〒930-1412 富山県中新川郡立山町芦崎寺弥陀ヶ原  
 ☎(076)442-2222 FAX(076)442-2242  
<https://midagahara.alpen-route.co.jp/>



## 主な事業所

**本社**  
 〒930-8558 富山県富山市校町1-1-36  
 ☎(076)441-3331(代表) FAX(076)433-1185

**東日本営業所**  
 〒102-0081 東京都千代田区四番町4-9 東越伯鷹ビル3階  
 ☎(03)3262-7028 FAX(03)3265-5285

**西日本営業所**  
 〒550-0004 大阪府大阪市西区鞠町1-9-15 近畿富山会館2階  
 ☎(06)6445-0359 FAX(06)6445-0398

**運輸事業部**  
 〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦崎寺千寿ヶ原  
 ☎(076)481-1173 FAX(076)481-1185

**大町事業所**  
 〒398-0002 長野県大町市大町3226-2  
 ☎(0261)22-0198 FAX(0261)23-2967